

平成 28 年 10 月 14 日

京大研究室火災の情報公開を求める住民連絡会 御中
放射性廃棄物全国拡散阻止 3・26 政府交渉ネット 御中
放射能防御プロジェクト 御中

京都大学環境安全保健機構
機構長 大 鷲 幸 一 郎
京都大学医学部附属病院
病院長 稲 垣 暢 也

再再申入書に関する回答

平成 28 年 7 月 1 日に発生いたしました、本学医学部（病院 RI 実験施設）における火災について、心配とご迷惑をお掛けいたしましたこと、重ねて深くお詫び申し上げます。

これまでの物的な調査や構成員からの聞き取り調査などから、法定帳簿の記載不備が認められましたが、火災発生前の放射性物質の種類および量については、正確に把握いたしました。一方で、平成 28 年 9 月 30 日付の再再申入書の通りに、当日は直接、煙の捕集および測定はできませんでした。そこで火災鎮圧後に、灰や堆積物の放射線量を測定いたしました。

本学では現在、安全に関する教育やマニュアルなどの見直し、危機管理体制の再構築、火災や事故時の地域住民や社会への情報発信の見直しを進めております。これまでにいただいたご意見を真摯に受け止め、予防的措置に重点を置く、環境整備および制度構築を図って参る所存です。

再再申入書にあります質問事項について、下記の通りに回答いたします。

記

- 1 貯蔵量は、補正報告書の 8 ページ、表 1 の通りです。また、焼却の承認を受けておりませんので、焼却処分はしておりません。
- 2 補正報告書の 27 ページ、別紙 6 の通りに、堆積物にインジウム (In-111) は含まれておりましたが、灰の中には含まれておりませんでした。

以上

【本件に関する問い合わせ先】

○放射性物質に関すること

■京都大学環境安全保健機構

TEL : 075-753-7543

○火災に関すること

■京都大学医学部附属病院事務部総務課

TEL : 075-751-4334